

## 概日リズム睡眠・覚醒障害の評価ツール

SNS等のデータから睡眠・覚醒パターンを推定、特別な機器は不要

### 概要

概日リズム睡眠・覚醒障害の診断には睡眠日誌やアクチグラフ測定が行われるが、長期間記録する必要性やコストから利用者に負担がかかる。また、疾患認知度が低いために、医療機関受診や症状改善処置に至るケースが稀である。

本発明によれば、家電製品やアプリケーションの日々の操作履歴をもとに概日リズム睡眠・覚醒障害が疑われる症状を指摘し、早期に医療機関受診の契機をつくりだすことができる。

### 応用例

- SNSアプリ等の使用時間と回数の履歴から使用者の睡眠パターンの推定、予測ツール
- 概日リズム睡眠・覚醒障害の診断支援ツール
- 睡眠改善前後のモニタリング方法

### 知的財産データ

知財関連番号 : 特願2024-089571  
 発明者 : 中尾 光之、高橋 容市、乾 健太郎  
 整理番号 : T23-062

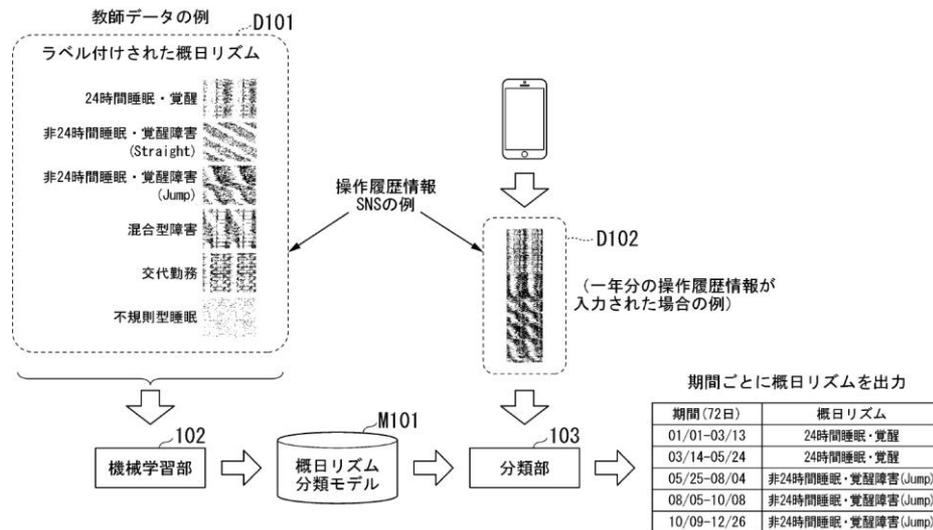
## 概日リズム睡眠・覚醒障害群とは

睡眠障害のうちの1つ概日リズム睡眠・覚醒障害群は、6つに分類されている。

分類	詳細
睡眠・覚醒相後退障害	極端な遅寝遅起き
睡眠・覚醒相前進障害	極端な早寝早起き
不規則睡眠・覚醒リズム障害	睡眠と覚醒が不規則に現れる
非24時間睡眠・覚醒リズム障害	一定の時刻に入眠し起床することが著しく困難であり、睡眠の時間帯が毎日30~60分ずつ遅れていく症状
交代勤務障害	通常は眠る時間帯に労働することにより、不眠や眠気が生じる
時差障害	海外(時差地域)への渡航により、体内リズムと明暗周期が一致しなくなり、不眠や眠気が生じる

本システムでは、時差障害を除く概日リズム睡眠・覚醒障害を対象とする。

## 自動的に概日リズムの解析結果を出力するシステム



## 関連文献

### お問い合わせ

株式会社東北テクノアーク

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは[こちら](#)